

屋根用圧力チャンバー (動風圧試験室エリア)

《本装置で行う試験の内容》

屋根用圧力チャンバーは、小型及び大型圧力チャンバーによる試験と同様に動風圧試験分野の基本となる装置となっています。

屋根用圧力チャンバーを用いた主な試験項目は、水密性、耐風圧性となります。また、今回導入する装置は気密性試験も可能なため、屋根最頂部に設ける棟換気材をはじめトップライトなどの気密性を求めることも可能です。

◆装置の概要

- 屋根用圧力チャンバー：試験体最大寸法W4.0m×D3.5m, 最大圧力差10kPa, 最大勾配40°
脈動中心圧・振幅(最大)；2500 ± 750Pa

◆対象の試験項目

- 気密性試験 (JIS A 1516 建具の気密性試験)
- 水密性試験 (JIS A 1517 建具の水密性試験)
(JIS A 1414-3 建築用パネルの性能試験方法-第3部: 温湿度・水分に対する試験
5.7水密性試験)
- 耐風圧性試験 (JIS A 1515 建具の耐風圧性試験)
(鋼板製屋根構法標準SSR2007 4.4 耐風圧性試験)

◆試験の対象製品や部材 (一例)

建築部材: トップライト, 各種屋根材及び屋根周辺部材